

「ジェノサイド」および「人道に対する罪」に認定。

ウイグルの現状に抗議の声を!

日本人の皆様に
感謝!!

- 情報拡散 ● 活動への応援 ● 日本の議員の方に、ウイグル問題で具体的行動を求めるメール等送信
- 強制労働との関与が指摘されている企業への投資や、取引などの見直し ● 在日ウイグル人への各種支援
- 日本各地でのウイグル問題のイベント(証言集会など)ご開催……などして頂いている皆様に、感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
日本ウイグル協会
ياپونىيە ئۇيغۇر جەمئىيىتى
Japan Uyghur Association

〒112-0004 東京都文京区後楽
2-3-8 第六松屋ビル 401 号室
TEL: 03-5615-9597
E-mail: info@uyghur-j.org
HP: <https://uyghur-j.org>



300万人のウイグル人を強制収容所から救い出せ!

男性を無差別に収容し強制労働を強いる、残った女性に不妊手術を強制し、子供を親から強制的に引き離す……こんなおぞましい民族抹殺計画が日本の隣の国で行われています。

ウイグルで起こっている悪夢を終わらせるために、**世界各国の政府・議会がこれを国際法上犯罪となるジェノサイドと認定し、責任を負わせる取り組みを始めています。**アメリカ政府の他、カナダ、オランダ、イギリス、リトアニア、チェコ、ベルギー、フランス、アイルランド、EU、台湾の議会においてもジェノサイド認定しました。また、ドイツ議会人権委員会が「人道に対する罪」と非難し、ニュージーランド議会、イタリア議会、日本の衆参両院でも非難決議を採択しています。また、**先進7カ国(G7)の中では、日本を除く各国が、限定的ではありますがウイグル問題で制裁に踏み切りました。**特に、ウイグル問題で制裁に踏み切ったEUですが、**対中制裁を発動するのは天安門**

事件以来の出来事です。

また、世界的に知られる人権団体、国際法の専門家、シンクタンクなども相次いで独自の調査報告書を発表し、ウイグルで起こっていることをジェノサイドや人道に対する罪に当たると結論付け、国際社会に行動を求めています。

ジェノサイド条約(中国も締約国)では、国民的、人種的、民族的、宗教的な集団の構成員に以下のような行為を加えることをジェノサイドと定義しています。(1)殺す、(2)重大な肉体的または精神的危害を加える、(3)集団の物理的な破壊をもたらす生活条件を故意に強いる、(4)集団内の出生を妨げることを目的とした措置を課す、(5)集団内の子供を強制的に他の集団に移す。このうちの1つでも当てはまればジェノサイドと見なされます。**夥しい数の証拠が示す中国政府の組織的なウイグル人弾圧は、これら全ての項目に当てはまるのです。**

人類史上最大規模の強制収容所が日本の隣の国に!

2017年以降、**習近平政権**はウイグル(中国の植民地支配下にある東トルキスタン)で、**人類史上最大規模の強制収容所を運営**しています。ウイグルの強制収容に世界で最も詳しいドイツの研究者エイドリアン・ゼンツ氏は、ウイグルで1000か所を超える強制収容所が存在するとの調査結果を発表しています。一ヶ所の強制収容所で13万人を収容できるような巨大なものも存在することを確認したとBBCは報じています。そこには、ウイグル人社会を担ってきた大勢の著名な文化人や経済人を含む300万人以上が収容されており、**被害を受けていないウイグル人の家族は存在しない悪夢のような事態**が起こっています。強制収容所の数にしても、収容者の数にしても、既にナチス政権を超える規模となっています。

BBCなど欧米メディアの潜入取材、生還者の証言、流出した内部文章や映像などから、正当な理由が無いまま強制収容

された人々は、**外部との接触を完全に断ち切った劣悪な環境の中で、母語での日常会話まで禁止され、ウイグル人の独自文化や伝統の放棄を強制**され、同時に中国共産党や習近平への忠誠を強制されている実態が明らかになっています。

洗脳教育だけではなく、**拷問、虐待、女性への組織的な性的暴行、正体不明の薬や注射の強制投与など人体実験を疑わせる犯罪行為**まで横行しているとの証言が多く報告されています。そして、家族の命がけの証言により、多くの人が強制収容所で死亡している実態も確認されています。また、ウイグルの強制収容所から健康な若者を中国本土各地の刑務所へ秘密裏に移送していることも確認されています。その数も数十万人に上ると指摘されており、主に軍の病院の近くへ集中的に移送され、その後消息不明となっていることから**臓器売買の対象にされている疑いがあるとの報道**もあります。